

株式会社日立製作所

Shareresearch

HITACHI
Inspire the Next

■企業情報

| | |
|-----|---------------------------|
| 社名 | 株式会社 日立製作所 |
| 所在地 | [本社所在地] 東京都千代田区丸の内一丁目6番6号 |

+ 導入背景・課題

特許情報提供サービス「Shareresearch(シェアリサーチ)」は、国内公報をShareresearchデータセンタで蓄積・運用、重要な独自情報はセキュアなお客様専用のコーポレートサーバで管理できる特許検索環境にて2004年にサービス開始しました。充実したデータと使い勝手の良さが評価されご利用いただくお客様も増加してまいりました。またコーポレートサーバは日立のHarmonious Cloudセンタで管理・運用することもでき、短期間での導入、運用負担の軽減が可能です。

近年、企業のグローバル化に伴い、国外特許データの検索需要が高まるなか、国外特許データ検索は別サービスを利用せざるをえない環境が多く、お客様にとってコストや使い勝手の面で大きな課題となっておりました。そこで弊社では「Shareresearch」で米国をはじめとした国外(英語)特許データを同一インターフェースにて検索可能なサービスを2007年に開始、あわせて英日方向の機械翻訳サービスにも対応いたしました。国外特許データサポートをはじめとしたサービス拡張によりさらにお客様の評価が高まり、現在では国内No.1(*)の導入シェアを獲得しております。

(*)2012年3月現在日立調べ 日本国内の特許出願件数上位300社における Shareresearchのシェア



株式会社日立製作所
中泉 義典氏

+ 翻訳ソリューション・ポイント

「Shareresearch」で米国をはじめとした国外(英語)特許データをサービスするにあたり、英語データを日本語翻訳・確認のニーズがあり、国外(英語)特許データの機械翻訳を検討しました。検討当初、弊社では機械翻訳の品質に疑問視する声もありましたが、特許専用の翻訳ツールであるポイントを考慮し検証を行なった結果、翻訳品質が確認でき採用にいたしました。「特許専門の翻訳ツール」「翻訳処理スピード」「豊富な専門語辞書」の評価ポイントに加え、豊富なAPI関数やドキュメントのサポートにより、導入作業もスムーズに行なうことができました。

+ 導入結果・効果

機械翻訳機能サポート後、国内外特許データを同一インターフェースで業務可能な点、さらに、日本語に機械翻訳できる点が好評となり、ご利用いただいているお客様の業務効率が格段に向上、2008年以降「Shareresearch」をご採用いただくお客様がそれ以前と比べ大幅に増加しました。国外特許データをご利用いただいているお客様の多くは翻訳機能をあわせてご利用いただいております、「Shareresearch」にとって大変充実した機能拡張になりました。

+ 今後の展望

現在、グローバルに事業展開している企業に対し、国内だけでなく国外拠点でも「Shareresearch」をお使いいただけるよう、英語インターフェースの提供や国外特許データのさらなる拡充を図っていきます。特に特許庁からのデータ提供が原語のみ、もしくは英語での提供が一部に限られる国外特許データは、原語から日本語や英語への機械翻訳が必要になってきており、特に中国語データは構文解析が難しく機械翻訳後の翻訳文の意味が判り難いなどの課題があります。この課題に対し、クロスランゲージの特許公報翻訳ノウハウを活かした高精度な機械翻訳に今後期待します。

また、弊社では、2011年12月から中国で特許情報提供サービス「digi-patent/s(デジパテント/エス)」をリリース、中国特許データをはじめとし、米国、欧州、日本など合計14の国と地域の特許データ検索と閲覧が可能です。今後もお客様のニーズにお応えするサービスを提供していきます。

+ システム構成

